

## 平成25年度 八頭高等学校 第三者評価 評価書

### 【講評】

八頭高校では、「真摯明朗」「克己盡力」の校風を継承し、素直で、明るく、心身共にたくましい人材の育成を目指している。学校長をはじめとする教職員は、その教育方針に則り、確かな学力を身につけさせ、人格の形成に努め、地域における八頭高ブランドを高め、全県に向けコースの特色を打ち出し、魅力ある学校づくりの推進という学校ビジョンを掲げている。そのビジョンの実現に向けて今年度において①八頭高生らしい生活態度の育成、②学力向上に向けた積極的な取組、③文武両道の実践、④特色あるコースの教育活動の推進、⑤スクラム教育（校種間連携）の充実、を重点目標としており、目指す姿を具体的に設定し、教職員はコミュニケーションを図って、教育活動を展開し、多くの成果をあげている。

以下は、委員会として評価し、今後も継続・発展していただきたい主な事項である。

- ① 教職員と生徒とが相互に関わり合って、一体感のある学校が形成されている。その結果、学校の雰囲気も明るく生徒は規律正しく学業や部活動に取り組んでいる。この教職員と生徒の関わり合いは、今後も大切にしていきたい。
- ② スクラム教育の中でも八頭タワー（八頭地域の小中高の学校連携）を充実させることは、地域に根ざす高校への意識を向上させることになり、また郷土の理解と愛着の醸成につながるものと思われるので、これまでの成果の綿密な検証と継続を希望する。
- ③ 県内でも質的・量的に有数の学校設備をより一層活用し、学業及び部活動においてトップレベルの成績をあげ続け、進路決定の拡大にもつなげていただくことを希望する。
- ④ 多彩で有能な人材を多く輩出した学校の歴史をふまえ、将来を担う人材としての八頭高生の夢を育み実現を支援するために、より一層の教職員の情熱と連携の発揮を希望する。

一方、以下は、今後改善していただきたい主な事項である。

- ① 教職員への「今、八頭高校に何が必要ですか」という質問への回答には「魅力ある学校にしてほしい」「各部署をまとめることに強いストレスを感じる」などがあり、ネガティブな要素も学校現場で生じていることがうかがえる。このことから、管理職のリーダーシップがより発揮され、全教職員が一致団結し、地域と一緒に「八頭の誇り」と称される学校づくりを目標としていただきたい。
- ② 入学当初、国公立大学志望者数が7割であったものが3年次9月には5割程度になっている。生徒の授業の取組、意欲向上を図るため、さまざまな観点・立場から意見・提案が出やすくなるよう、独立した学力向上委員会を設置していただきたい。
- ③ 保健指導・教育相談に関して、養護教諭の対応が適切であり連携が図られているが、生徒の抱える問題の分析をより深め、スクールカウンセラーの知恵を借りるべく対応時間の延長をしていただきたい。
- ④ 9月に行った中間の自己評価で（C）となった「授業を大切にし、集中させる」「進路学習・個別面談による学習への高い動機づけ」「学習と部活動の両立」については、特に経過・状況分析をふまえ、あらゆる角度から改善策を検討し実施していただきたい。